

6. 北海道南西沖地震

平成5年(1993年)7月12日(月)、午後10時17分に、北海道南西の奥尻島付近の海底で起きた地震です。地震が起きてから2～3分後に津波が奥尻町におしよせたとみられ、津波が起きたことを人々に知らせるのも間に合いませんでした。津波の高さが約30mになったところもあったといわれています。この地震によって亡くなったり行方が分からなくなった人198人のうち、ほとんどは津波によるものでした。また、奥尻町の青苗(あおなえ)地区で起きた火災が燃え広がり、地区のほとんどが焼け野原になりました。

写真では、北海道南西沖地震での津波の被害を受けた北海道奥尻町での、まちや港がめちゃくちゃに壊れた様子、電柱よりも上まで津波が来たのを示す様子、建物が壊れた様子がわかります。